

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第59号

古牧だより通算153号

第20回 古牧地区学社連携住民集会開催

25年度古牧地区学校と地域で人権を考える集いが、11月21日(木)南部小学校体育館で午後1時5分から開催されました。

本集会は平成6年に学社連携住民集会として始まり、今年20年の節目の年となりました。

一人ひとりの「違い」が尊重される社会へ～優しさに気づく人権感覚を育てよう～をテーマに、前半は南部小学校全学級で人権同和教育の授業参観が行われ、地域住民参加者がPTAの皆さんと共に参観しました。

さくら学級は「友達と仲良くゲームを楽しもう」の特別活動教科を、1年生は「仲間づくりゲームをしよう」の特別活動教科を、2年生は「あいさつっていいな・だって・・・」の道徳教科を、3年生は「ガラスの心」の道徳教科を、4年1組は「ひらがなにっき」の道徳教科を、4年2組は「わたしのいもうと」の道徳教科を、4年3組は「世界がもし100人だったら」の道徳教科を、5年1組は「自分向上プロジェクト」の道徳教科を、5年2組は「星野富弘さんの生き方から学ぶ」の道徳教科を、5年3組は「言葉のおくりもの」の道徳教科を、6年生は「電池が切れるまで」の道徳教科を、それぞれ課題に話し合いや発表など元気な姿を見せてくれました。

後半の全体会開会で、主催者の古牧住民自治協議会の湯沢会長が「地域が良くなるには子どもが良くならなければ、子どもが良くなるためには家庭と地域が積極的に協力の輪を広げなければ」との集会の趣旨を話され、来



賓の長野市人権同和政策課・上野課長は、本年2月1日に策定された「長野市人権政策推進基本方針」に従って実施しておりますので皆様のご理解ご協力をお願いしたいと挨拶され、次に市議員を代表して金沢議員が障害者である息子さんの実例を話されて人権を訴えられました。

会場校挨拶で山岸校長から講師紹介があり『講師の富永房枝さん(通称風子さん)は、1963年7月8日長野市に生まれ、半年後、風邪の高熱が原因で「脳性小児麻痺」による体幹の機能障害になりました。両手が使えず自然に足を使うようになり、4歳の時足指で簡単な童謡曲などを弾くようになりました。』

1984年3月千曲市稲荷山養護学校高等部を卒業。一般社会に衝撃を受け「詩」を書き始めました。詩集「女の子のとき」を出版、1989年「ふうちゃんの詩を読む会」からグループ「風のオーラ」が結成され、キーボード演奏と詩の朗読によるコンサート活動を開始し、ビデオドラマに出演、「風子の絵足紙キャラバン」等幅広い活動をされております。』と紹介されました。



富永房枝さんの作品

講演：演題「泣いたら次は笑おうよ」

両足指でのキーボード演奏が始まると曲に合わせて生徒の手拍子が起こり、生徒のリズム感の良さには驚きましたが、400人近い生徒の手拍子と演奏が一体となり、心が通うさまに感動しました。

また、右足に筆ペンを持ち色紙に『“夢をかなえよう” 風子。2013、11、21』と書いて、会場校の山岸校長にプレゼントされた時には万雷の拍手がありました。

終わりに、風子さんは次のように話されました。『私は、障害は大嫌いでした。障害が治らないと知った時に死にたいと思いました。しかし、助けてくれたのは友達でした。』

それ以来嫌いだった自分が好きになりました。障害のある人もない人も同じ人間であり、生きていて良かったと思えるようにしたい。父さん母さんの笑顔は子どもの心の栄養です自分のことを愛して、元気で仲良く健康で幸せを願って終わります。』一と結ばれました。

5年生の作文より



障害のある方の講演会がありました。その方は小さい頃に高熱を出し、その熱が脳にまで行って手の自由さと言葉のはっきりさが失われてしまったのです。しかし、足でキーボードの演奏や字や絵を描くことができ、今日いろいろやってくれました。でも「死にたい」と何度も思ったことがあったそうです。今日この講演を聴いて、自分は健康でいて悪いなあと思いました。最初は障害を持っている人はあまり好きではなかったけれど、今日の話聞いて「障害のある人もない人もみんな同じ人間なんだ」と改めて思いました。障害のある人がいたら助けたり支えたりしてあげたいなあと思いました。

(人権・男女参画部)

男性の料理教室でソバ打ちを

11月19日、古牧公民館において、25名が参加して男性の料理教室が開催されました。

今回のテーマはソバ打ちを学ぶということで、その道に精通している男性が講師となり、始めにソバについての基本的な話が、その後あらかじめ会場として準備された学習室でソバ打ちを体験しました。



ソバは非常に微妙な食品で、水100cc、お湯150ccを用意することから始め、またソバ打



ちは手際よく、素早く行わないと生地が乾いてヒビがはいり、もう一度最初から始める二度打ちをせねばならない等、頭では分かっていても実際は大違い、かなり大変な体験でした。

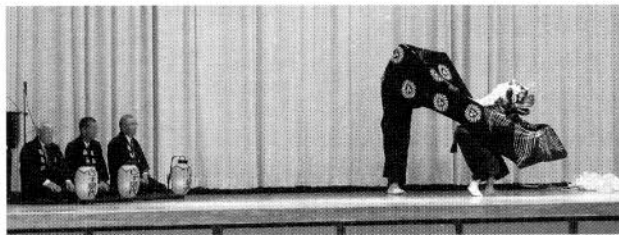
それでも講師の方々の懇切丁寧なご指導で最後には素晴らしいソバができ、お昼には食生活改善推進協議会古牧の皆さんが作った美味しいかき揚げと共に、美味しく頂きました。

次回の料理教室は1月14日です。

(福祉健康部)

ふるさと文化芸能祭開催

11月3日、古牧小学校の西体育館で芸能部門が、古牧公民館の2階集会室で展示部門が、同時に開催されました。



芸能部門は、第1部と第2部で構成され、第1部では、学校・各種団体の部とし、南高田神楽保存会のみなさんによる御神楽から始まりました。伝統ある獅子舞に観客からは、大きな拍手が湧きました。また、それぞれの小・中学校から、合唱、金管バンド、吹奏楽等の発表があり、きれいな歌声、きれいな音色に感動して聞き入っている観客が印象的で



した。

第2部では、地域公民館の部とし、各地域の代表グループが舞踊、演奏、ダンスと自慢の芸能を披露してくれました。

芸能披露終了後、大抽選会が行われ目玉賞品の自転車は、平林区の堀内智男さんに当たり、戸惑いながらも笑顔を隠せない様子でした。

入場者数600人との発表がありました。



展示部門では、各地域から出品された80点近い作品が所狭しと展示され、入場者は気になる作品に近くから、遠くからと見る位置を変え、楽しんでいる様子でした。

入場者数300人との発表がありました。

(公民館部)

古牧・南部・緑ヶ丘・小学生との交流で 地域との絆が深まる

去る9月26日(木)古牧小学校、11月5日(火)南部小学校、11月20日(水)緑ヶ丘小学校において、来年中学生となる6年生と古

牧老人クラブ連合会の会長、役員等が参加して、体育館では交流会の



老連会長あいさつ(古牧小学校)



グラウンドゴルフによる交流(緑ヶ丘小学校)

セレモニーを行い、校庭ではグラウンドゴルフ、ペタンク、老連の女性部の皆さんによる手作りのニラセンベイを味わう輪の広場等によって交流が図られました。

それぞれの学校での交流が行われた日は、秋空の晴天に恵まれ学生たちの歓声が校庭に響きわたる楽しい一日となりました。



老連から英語のノートをプレゼントする(南部小学校)

最後は、お別れに老連の会長から交流した生徒たちに英語のノートをプレゼントされ、生徒たちからは老連の参加者に歌のプレゼントがありました。

(古牧老連井原通信員)

12月・1月の主な事業実施日のお知らせ 住民の皆様ご参加ください

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
町別人権研修会の開催	12月1日 ～1月末日	13地区	各区で自主開催する	人権・男女参画部 263-3134
年末全国交通安全運動	12月1日 ～31日	13地区	各区の安協が指導する	交通安全協会 古牧支部 244-5756
一人暮らし高齢者の集い	12月10日	古牧公民館	参加者による交流	古牧ボランティアセンター 244-8159
介護者相談会	12月13日	古牧公民館	相談員：包括支援センター (ニチイケア高田)	古牧ボランティアセンター 244-8159
季節による地域安全活動	12月中旬	13地区	ポスター掲示	安全部 226-2525
年末防犯夜間パトロール	12月下旬	13地区	各区で自主パトロールを実施する	安全部 226-2525
年末特別出火防止運動	12月25日 ～30日	古牧地区内	予防広報活動・警鐘打鳴を行う	消防団長野第6分団 222-7720
新年祝賀会・出初め式	1月11日	古牧公民館	消防出初め式と古牧地区新年祝賀会	事務局 259-8359
男性の料理教室	1月14日	古牧公民館	メニュー未定 皆様の参加お待ちしております	古牧ボランティアセンター 244-8159

しゃべんびつ



温 も り

一年の何と早く過ぎる事か。

我が家の大きな桜の木に見守られて、今年も無事に暮れて行く。

家族を楽しませてくれた桜の木に感謝を込めながら肥料をまいて歩く。

そんな時、ふとなつかしい人の顔が浮かんで、無性に寂しく、人恋しくなってくる。

“あの人は今、どこで何をしているのだろうか。”

今日まで多くの人と巡り会って来た。ある時期親しくまじわった人もいれば、共に過ごした時間はわずかでも印象深く忘れがたい人もいる。

そうした人たちとの大切な時間を心にしまったまま過ごして来ているのではないだろうか。

そんな事を思い出していると、これまでにかかわった人の温もりがよみがえる。自分は独りではないことに気づかせてくれる。心が熱くなり、明日を生きる力を与えてくれる。

出来ることならば、自分も誰かに思い出され、その人の心を温かさで包む、そんな人でありたいと思う。

(北村 和広)



古牧地区の世帯数と人口

25年11月1日現在

10,730 世帯

26,271 人

(男 12,927人 女 13,344人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359)
- 発行者 湯沢 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷